

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた検討状況報告）
日 時	平成 30 年 4 月 23 日（月曜）13 時 30 分～17 時 30 分
場 所	大阪市役所本庁舎 5 階 秘書担当会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与) : 清水特別参与・山本特別参与 (職員等) : 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長・外 4 名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 2 名・外 3 名）
論 点	・ 大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	・ 大都市制度の広報紙について、当初と比べ良くなっている。ただ、全体がフラットに見えるので、伝えたいものの優先順位を付けて、色の強弱、サイズの大中小ではっきり際立たせるべき。地図は、伝えたい新たな区について、現在の区と区別するため、文字色を変え、実線・破線を使い分けるべき。 ・ 各種広報媒体共通のデザインフォーマット化にあたっての、情報カテゴリの整理については、ホームページの「暮らし」、「観光・イベント」、「産業・ビジネス」、「市政」の 4 分類と市長のトピックスである「万博」と「子育て・教育環境の充実」の 6 分類が適当か。6 分類のフォーマットカラーはホームページの色系統を意識しつつ調整していく必要がある。 ・ デザインフォーマットのアイコンとして市長顔写真を使うという案について、政治的中立条例の関係で写真を使えない時期があるなら、考え直す必要がある。容易に差し替えられるデジタルサイネージだけでは効果が限定的。別のキャラクターを使うとしても市の情報と認知してもらうので、時間がかかってしまう。 ・ 新しい広報の企画については、現在の広報の問題点、課題を調査したうえで、市民に役立つ大阪市の PR できるものをプロポーザルで事業者から提案を受け付けるのが良いのではないか。
結 論	・ 本日の助言を踏まえ、各種広報媒体の見直しの検討を行う
説明等資料	・ 大阪市ホームページ・トップページ (http://www.city.osaka.lg.jp/) ・ 平成 30 年度 重点広報計画の策定について
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当